

社会学専攻大学院生 業績・略歴一覧

[項目内容]

- [1] 論文（査読有。かつ単著かファースト・オーサーのもの）
- [2] 論文（上記以外の論文。本の手記執筆も含む）
- [3] 学会発表（海外・全国・地域の各学会）
- [4] 博論構想発表会での報告（専攻内もしくは同志社社会学研究学会）
- [5] 修士論文タイトル（未提出の人は予定タイトル）
- [6] 博士論文タイトル（あるいは研究テーマ。後期課程者のみ）
- [7] 非常勤講師、TA、チューターなど、教育・研究職歴
- [8] 調査報告書その他の執筆（社会調査実習報告書も含む）
- [9] 所属学会
- [10] 学歴・職歴その他

* 以下、課程別に入学年度および氏名のアルファベット順による。

[博士後期課程]

西丸 良一（ニシマル リョウイチ/Nishimaru Ryoichi）

- [1] 2008 「大学進学におよぼす国・私立中学校の進学の影響」『教育学研究』日本教育学会 75(1) ; pp.24-33
- 2010 「学力と進学期待のズレ——高校設立種別に注目した PISA 2003 データの分析」『関西教育学会研究紀要』10 ; pp.1-15
- [2] 2006 「教育における社会移動「型」の諸理論と残された分析課題」『佛教大学大学院紀要』34 ; pp.301-308
- 2006 「大学入試選抜方法と出身階層」『佛大社会学』30 ; pp.57-61
- 2007 「大学受験における浪人の効果——計量分析を用いて」『佛大社会学』31 ; pp.14-23
- 2010 「入学者選抜方法による大学の学業成績——同志社大学社会学部を事例に」『同志社大学教育開発センター年報』1 ; pp.16-25
- 2011 「第 18 章 教育投資の規定要因」『現代の階層社会 1——格差と多様性』（4 月刊行予定）
- [3] 2005 「教育におけるトラッキングと出身階層——学外教育・浪人を加えた分析」第 57 回日本教育学会（放送大学）
- 2006 「教育達成における国・私立中学校の効果」第 65 回日本教育学会大会（東北大学）
- 2007 「国・私立中学による大学進学効果」第 59 回関西教育学会大会（京都大学）
- 2008 「中学校種別による教育達成効果——高校間格差の是正策に注目した 2005 年 SSM データの分析」第 67 回日本教育学会大会（佛教大学）

- 2009 「高校の設立種別と学力・進学期待の格差——PISA 2003 データを用いた計量分析」第 61 回関西教育学会大会（大阪樟蔭女子大学）
- [4] 「教育システムにおける早期選抜と地位達成——教育達成と初職達成におよぼす国・私立中学校の効果」博論構想発表会（2007）
「子どもの就学段階と母親の教育期待」第 15 回同志社社会学研究学会（2009）
- [5] 「学校設立種別と教育達成」（2005）
- [6] 「中等教育における設置者種別と教育達成・初職達成」（2011 提出済・審査中）
- [7] 2008～ 大阪経済大学人間科学部「情報処理初級・情報処理中級」
2010～ 和歌山大学観光学部「社会調査法」（夏期集中講義）
社会調査実習（平井順 2006、越智祐子 2007、古田和久 2009）TA
- [8] 2007 「教育達成とネットワーク——子どもへの中学受験に社会資本は影響するか」鶴飼孝造編『新しいコミュニティの構想 2006 年兵庫県県民調査報告書』；pp.77-93（平成 16 年度～平成 19 年度科学研究費補助金〔基盤研究（B）〕研究成果報告書）
2008 「国・私立中学校の学歴達成効果」米澤彰純編『教育達成の構造』2005 年 SSM 調査研究会；pp.99-111
2009 「私立高校と公立高校の学校間格差——進学期待に注目して」尾嶋文章編『学校教育と社会的な不平等に関する国際比較研究（第 1 次報告書）』；pp.13-22（科学研究費補助金〔基盤研究（B）〕「学校教育と社会的な不平等に関する国際比較研究：PISA データの分析を中心に」）
2010 「入試形態からみる社会学部生」『第 1 回同志社大学社会学部卒業生アンケート調査報告書』同志社大学社会学部教育 GP 評価委員会；pp.1-12
2010 「留年の規定要因——社会学部を事例に」『第 2 回同志社大学社会学部卒業生アンケート調査報告書』同志社大学社会学部教育 GP 評価委員会；pp.65-73
- [9] 日本教育社会学会 関西社会学会 日本教育学会 関西教育学会
- [10] 佛教大学大学院社会学研究科社会学専攻修士課程修了（2005）
同志社大学大学院社会学研究科社会学専攻博士後期課程入学（2005）
同志社大学大学院社会学研究科社会学専攻博士後期課程退学予定（2011）

山本 圭三（ヤマモト ケイゾウ/Yamamoto Keizo）

- [1] 2010 「職業生活の充実の構造——職業の『共同性』に注目して」『ソシオロジ』55(2)，pp.19-35
- [2] 2005 「現代大学生の職業選好に関する計量的分析——島根大学調査データを用いて」『同志社社会学研究』9；pp.57-71
2009 「現代大学生のフリーター志向に関する考察——自己効力感の視点から」『評論 社会科学』87；pp.95-116
2010 「若年層における典型職・フリーターの内部の差異」『同志社社会学研究』14；pp.1-15
- [3] 2006 「現代大学生の職業選好——島根大学調査から」第 57 回関西社会学会大会（金沢大学）

- 2006 「現代大学生のフリーター化に関する要因の再検討」第79回日本社会学会大会（立命館大学）
- 2008 「若年層における正社員・フリーターの内部の差異」経済社会学会西部部会（神戸大学）
- [4] 「現代若者の職業および社会階層に関する実証的研究」博論構想発表会（2007）
「現代日本における職業の意義とその社会的側面——新しい職業社会学の射程」博論構想発表会（2009）
- [5] 「大学生のフリーター化に関する諸要因——自己効力感・社会観という視点を用いて」（2006）
- [6] 「現代日本における職業の意義とその社会的側面——職業社会学的研究」（研究テーマ）
- [7] [非常勤講師]
2006～ 島根大学法文学部「情報科学演習」（夏季集中講義）
2006～ 大阪人間科学大学人間科学部「社会統計学」（後期開講科目）
2007～ 京都女子大学現代社会学部「社会調査法Ⅰ」（前期開講科目）
2008.8 松江総合医療専門学校介護福祉科「社会学」（夏季集中講義）
2008～ 大阪人間科学大学人間科学部「社会調査技術」（後期開講科目）
2009～ 摂南大学経営情報学部「社会学Ⅰ」（前期開講科目）
2009～ 摂南大学経営情報学部「社会学Ⅱ」（後期開講科目）
2010～ 摂南大学経済学部「社会学Ⅰ」（前期開講科目）
2010～ 摂南大学経済学部「社会学Ⅱ」（後期開講科目）
[ティーチングアシスタント]
2004年度「社会調査実習（尾嶋史章）」
2006、2009、2010年度「社会調査実習（小林久高）」
2007、2008、2009、2010年度「演習Ⅲ（小林久高）」
- [8] 2006 雨森聡・山本圭三, 「SPSS マニュアル——データ読込から多変量解析まで」『2005年度社会調査実習報告書（担当教員：小林久高）』；pp.391-425
2007 雨森聡・山本圭三, 「SPSS とエクセルによる社会調査データ分析入門」『2006年度社会調査実習報告書（担当教員：小林久高）』；pp.237-43
2007 小林久高・雨森聡・山本圭三, 「SPSS を用いた社会調査データの分析——シンタックスの解説を中心に」『2006年度社会調査実習報告書（担当教員：小林久高）』；pp.245-281
2007 「若年におけるフリーター・正社員問題の再検討」鶴飼孝造編『新しいコミュニティの構想』[科学研究費補助金基盤研究（B）]；pp.95-109
2008 小林久高・雨森聡・山本圭三, 「社会調査データの入力とチェックの方法」『同志社社会学研究』12；pp.41-50
2008 山本圭三・堺完, 「Scan Tools Plus マニュアル」（汎用型マークシート版質問紙調査開発とマークシートリーダー使用マニュアル作成プロジェクト、同志社大学社会学部）
2009 小林久高・雨森聡・山本圭三, 「SPSS による社会調査データ分析入門——シンタックスの解説を中心に」『同志社社会学研究』13；pp.45-76

- 2010 小林久高・猿渡壮・山本圭三, 「エクセル入門」『2009 年度社会調査実習報告書 (担当教員: 小林久高)』
- 2010 山本圭三・張曉霖, 「文献検索と収集の基礎」『2009 年度社会調査実習報告書 (担当教員: 小林久高)』
- 2011 「社会調査のためのエクセル利用法」『同志社社会学研究』15; pp.77-96 (共著: 小林久高・山本圭三・金政芸・猿渡壮)
- [9] 関西社会学会 日本社会学会 日本労働社会学会 経済社会学会
- [10] 鳥取県立鳥取西高等学校卒業 (1999)
 島根大学法文学部社会システム学科卒業 (2004)
 同志社大学大学院文学研究科社会学専攻博士前期課程修了 (2006)
 同志社大学大学院社会学研究科社会学専攻博士後期課程退学予定 (2011)
 専門社会調査士 (2006)
 摂南大学経営学部専任講師就任予定 (2011)

Nicolle B. Comafay (ニコール コマファイ)

- [1] 2008 コマファイ, ニコール・北浜陽子・飛岡香・立木茂雄「平成 19 年能登半島地震における災害時要援護者への対応に関する質的研究——要介護高齢者支援組織の対応過程分析より」『地域安全学会論文集』10; pp.521-30
- 2009 コマファイ, ニコール・中村千佳子・横田治郎・立木茂雄「神戸市兵庫区における障害者の災害時要援護度マッピングの実施研究——脆弱性の「人——環境相互作用モデル」に基づいて——」『地域安全学会論文集』11; pp.127-34
- [2] 2009 越智祐子・コマファイ, ニコール・立木茂雄「災害リスク回避行動の実証モデル構築の試み——災害時要援護者支援の視点から」『地域安全学会論文集』10; pp.465-72
- 2009 コマファイ, ニコール・メンセンディク, マーサ「在日フィリピン人コミュニティの自助組織活動 (特集 外国人支援とソーシャルワーク)」『ソーシャルワーク研究』35(3); pp.189-97
- [3] 2006 “Filipino Identities in Flux: Catholic Church and Adopted Country,” *Anthropology of Japan in Japan Spring Workshop* (Doshisha University)
- 2006 “Social Integration of Filipinos in Japan: The Case of Kyoto Pag-asa Filipino Community,” *Summer Conference of the Ateneo De Manila University Japanese Studies Program* (Ateneo de Manila University)
- 2006 「在日フィリピン人とカトリック教会——京都市中京区西院教会を事例として」第 57 回関西社会学会大会 (金沢大学)
- 2006 「フィリピンコミュニティとカトリック教会——京都バグアサフィリピンコミュニティの事例として」第 11 回フィリピン研究会フォーラム (中京大学)
- 2007 “Community-Based Disaster Awareness and Preparedness: Lessons Learned from Local Com-

- munities Affected by the Noto Peninsula Earthquake,” *2nd International Conference on Urban Disaster Reduction* (Taipei, Taiwan) Proceedings ; p.166
- 2008 「Kyoto Association of Pinoy Scholars : A Filipino Scholar-Student Group in Japan」第 13 回フィリピン研究会フォーラム (同志社大学)
- 2008 「平成 19 年能登半島地震における災害時要援護者への対応に関する質的研究——要介護高齢者支援組織の対応過程分析より」第 23 回地域安全学会研究発表会 (秋季) 大会 (静岡県地震防災センター) 『地域安全学会論文集』; pp.521-30
- 2008 “A Church-based Community in Japan : Enhancing Ethnic Community-Based Social Work Capacity Thru Participatory Research,” *13th Asian Studies Conference in Japan* (Sophia University)
- 2009 「神戸市兵庫区における災害時要援護者支援体制の構築に関する研究——災害時要援護度マッピング」第 24 回地域安全学会 (春季) 大会 (桑名市長島防災コミュニティセンター) 『地域安全学会梗概集』; pp.43-46
- 2009 「神戸市兵庫区における障害者の災害時要援護度マッピングの実施研究——脆弱性の「人——環境相互作用モデル」に基づいて」第 25 回地域安全学会研究発表会 (秋季) 大会 (静岡県地震防災センター) 『地域安全学会論文集』; pp.127-134
- 2010 「外国人留学生の HIV/STI に関する知識・意識調査」第 29 回日本思春期学会総会学術集会 (グランドパーク小樽)
- 2010 「関西圏当事者コミュニティ・支援団体・行政機関の協働による外国籍住民のための健康の予防介入に関するパイロットプロジェクト」第 24 回日本エイズ学会学術集会・総会 (グランドプリンスホテル高輪ザ・プリンスさくらタワー東京)
- [4] 「平成 19 年能登半島地震における災害時要援護者への対応に関する実証的・理論的検討」第 14 回同志社社会学研究学会 (2008)
「災害時要援護者に関する災害社会学的研究」博論構想発表会 (2009)
- [5] 「日本におけるフィリピン移民の教会とコミュニティ——京都パグアサフィリピンコミュニティの事例から」(2007)
- [6] 「災害時要援護者に関する災害社会学的研究」(2011 提出済・審査中)
- [7] 2007 年度 同志社大学「社会調査実習 (越智祐子)」TA
2007~2008 年度 同志社大学「社会学演習Ⅲ (立木茂雄)」TA
2007~2010 年 「日本国内のフィリピン人コミュニティにおけるセルフヘルプ活動に関する調査 (指導担当: Mensendiek, Martha 先生)」研究協力者
- [9] 関西社会学会 フィリピン研究会フォーラム 地域安全学会
International Sociological Association 日本思春期学会
- [10] University of the Philippines Integrated School 高校卒業 (1995)
大阪外国語大学留学生日本語教育センター修了 (2000)
University of the Philippines 社会学部哲学専攻卒業 (2001)

University of the Philippines 大学院アジア研究科中退 (2004)
同志社大学大学院社会学研究科社会学専攻特別研究生 (2004-2005)
同志社大学大学院社会学研究科社会学専攻博士前期課程修了 (2007)
同志社大学大学院社会学研究科社会学専攻博士後期課程退学予定 (2011)
財団法人エイズ予防財団リサーチ・レジデント入社 (勤務先: 関西学院大学・NPO 法人チャーム) (2010)

多喜 弘文 (タキ ヒロフミ / Taki Hirofumi)

- [1] 2010 「社会経済的地位と学力の国際比較——後期中等教育段階における教育と不平等の日本の特徴」『理論と方法』25 (2) : 229-48
- 2011 「日本の高校トラックと社会階層の関連構造——PISA データを用いて——」『ソシオロジ』170 : 37-52
- 2011 「日・独・米における学校トラックと進学期待・職業期待——学校と職業の接続に着目して」『社会学評論』246 (掲載承認済)
- 2011 “Distinguishing Characteristics of Education and Inequality in East Asia : An International Comparison from an Institutional Perspective,” *International Journal of Contemporary Sociology* (in press).
- [2] 2008 「大学生男女の職業的階層志向の違いとその背後にあるもの」『同志社社会学研究』12 ; pp.27-40
- [3] 2007 「大学生男女における階層志向の持つ意味の違い」第 80 回日本社会学会大会 (関東学院大学).
- 2008 「階層・意識・学力の関連構造とその背景——PISA 2003 を用いた国際比較」第 59 回関西社会学会大会 (松山大学) (関西社会学会大会奨励賞受賞)
- 2008 “Socioeconomic Status, Attitudes, and Test Scores : An International Comparison Using PISA 2003 Data”, *ISA Research Committee on Social Stratification and Mobility (RC 28)* (Stanford University, USA).
- 2009 「社会階層と学力の国際比較——PISA データを用いた階層線形モデルによる分析」第 61 回教育社会学会大会 (早稲田大学).
- 2009 “Distinguishing Characteristics of Education and Inequality in Japan”, *ISA International Laboratory for Ph.D. Students in Sociology* (Shonan Kokusai Village, Japan).
- 2010 “Distinguishing Characteristics of Education and Inequality in East Asia : An international comparison”, *ISA World Congress of Sociology, Research Committee on Sociology of Education (RC 04)* (Gothenburg, Sweden).
- 2011 “The Effect of Family Background on Educational Attainment : A Cross-National Analysis from Institutional Perspective”, *Keio University Global COE program (Center of Governance for Civil Society), session : Education, Family, and Globalization* (Keio University, Japan)

- [4] 「教育と不平等の国際比較——日本の特徴についての実証的研究——」 博論構想発表会（2009）
「日・米・独における将来イメージとトラッキング——学校と職業の接続に着目して」 第16回同志社社会学研究学会（2010）
- [5] 「階層志向のエートス——現代社会において人びとを階層志向に向かわせる実践的起動力とは何か——」（2007）
- [6] 「学校と不平等の日本の特徴に関する国際比較研究——社会階層と学校トラックの関連を中心に」（2011 提出済、審査中）
- [7] [TA]
2007 年度「社会調査実習（小林大祐）」
2009 年前期 大学院「社会学研究法（尾嶋史章）」
2010 年度 留学生チューター
2010 年度後期 大学院「社会学特殊研究演習Ⅶ（尾嶋史章）」
[非常勤助手]
2007 年後期 大阪人間科学大学「社会調査実習」
2008 年後期 大阪人間科学大学「社会調査実習」
[非常勤講師]
2009 年～ 大阪人間科学大学「社会調査実習」
- [8] 2009 「学力規定要因の国際比較——教育システムの違いに着目して」尾嶋史章編『学校教育と社会的不平等に関する国際比較研究（第1次報告書）』；pp.39-60（科学研究費補助金〔基盤研究（B）〕「学校教育と社会的不平等に関する国際比較研究：PISA データの分析を中心に」）
2010 「日・米・独における進学期待・職業期待とトラッキング——学校と職業の接続に注目して」尾嶋史章編『学校教育と社会的不平等に関する国際比較研究（第2次報告書）』；pp.1-17（科学研究費補助金〔基盤研究（B）〕「学校教育と社会的不平等に関する国際比較研究：PISA データの分析を中心に」）
2011 「社会学部における学科と進路の関連構造」『第2回同志社大学社会学部卒業生アンケート調査報告書』同志社大学社会学部教育 GP 評価委員会；pp.39-49
2011 “Educational Inequality and Institutional Difference in Secondary School: Exploring Specific Characteristics of East Asian Countries,” Kazuto Misumi (ed.), *Study of an East Asian Stratification Model*; pp.95-110. (Grant-in-Aid for Scientific Research (B) No.20330104)
2011 「学校から職業への移行の国際比較研究——日韓台における初職入職経路の基礎分析」『現代日本の階層状況の解明——ミクロ-マクロ連結からのアプローチ 第2分冊 教育・ジェンダー・結婚』；pp.155-171. (科学研究費補助金 基盤研究 (A) 研究成果報告書)
- [9] 日本社会学会 関西社会学会 日本教育社会学会 国際社会学会
- [10] 同志社大学文学部社会学科社会学専攻卒業（2005）
同志社大学大学院社会学研究科社会学専攻博士課程前期課程修了（2007）

同志社大学大学院社会学研究科社会学専攻博士課程後期課程退学予定（2011）
専門社会調査士（2007）

坂野 誠（バンノ マコト／Banno Makoto）

- [6] 「習熟度別学習と進学アスピレーションについて」（2009 年度研究テーマ）
- [8] 2010 「PISA 調査から見た学習時間の研究——どのような生徒が勉強しないのか」尾嶋史章編『学校教育と社会的不平等に関する国際比較研究（第 2 次報告書）』；pp.33-43（科学研究費補助金 [基盤研究 (B)] 「学校教育と社会的不平等に関する国際比較研究：PISA データの分析を中心に」）
- [10] 高等学校教諭
同志社大学大学院社会学研究科博士後期課程（社会人）入学（2009）

巴 芳（ハ ヨシ／Ba Fang）

- [2] 2010 「中国における社会ネットワーク研究の進展とその変化——伝統ネットワークから趣味ネットワークへ」『同志社社会学研究』14
- [3] 2009 「在日中国人の趣味ネットワーク——大阪におけるサッカークラブの事例から」第 60 回関西社会学会大会（京都大学）
2009 「趣味ネットワークから見る定住過程と価値観の変化——大阪における在日中国人のサッカークラブを中心に」第 82 回日本社会学会大会（立教大学）
2010 「中国人社会におけるネットワーク研究の転換——伝統ネットワークから友人ネットワークへ——」第 22 回日中社会学会大会（一橋大学）
2010 「伝統ネットワークから趣味ネットワークへの可能性——中国人社会ネットワーク研究に着目——」第 29 回社会・経済システム学会大会（同志社大学）
- [4] 「中国人社会における趣味ネットワークの研究——大阪・北京におけるフィールドワークを通じて」博論構想発表会（2009）
「中国人社会における移動とネットワークの研究——趣味による紐帯の形成を中心に——」博論構想発表会（2010）
- [5] 「在日中国人の新しいネットワークと社会関係資本の形成分析——大阪国際 FC の事例から」（2009）
- [6] 「中国人社会における趣味ネットワークの研究——大阪・北京におけるフィールドワークを通じて」（2010 年度研究テーマ）
- [7] 「社会調査実習（鶴飼孝造）」（2009 年度）TA
「質的調査法（西川麦子）」（2009 年度秋学期）チューター
「社会調査実習（鶴飼孝造）」（2010 年度）TA
- [8] 2010 「同志社大学社会学部新卒生の就職先と職種の分析」『第 1 回同志社大学社会学部卒業生アンケート調査報告書』同志社大学社会学部教育 GP 評価委員会；pp.39-48

2011 「ジェンダー視点から見る大学生余暇生活の過ごし方——同志社大学社会学部卒業生を事例に——」『第2回同志社大学社会学部卒業生アンケート調査報告書』同志社大学社会学部教育 GP 評価委員会；pp.11-9

[9] 関西社会学会 日本社会学会 日中社会学会 社会・経済システム学会

[10] 中国 東北大学 会計学学士取得 (2001)

佛教大学社会学部卒業 (2006)

同志社大学大学院社会学研究科社会学専攻博士前期課程修了 (2009)

同志社大学大学院社会学研究科社会学専攻博士後期課程入学 (2009)

専門社会調査士 (2009)

白川 俊之 (シラカワ トシユキ/Shirakawa Toshiyuki)

[1] 2010 「配分格差評価としての領域別不公平感の規定構造——機会認知を介した社会階層との因果関係」『社会学評論』60(4)；pp.570-586

2010 「家族構成と子どもの読解力形成——ひとり親家族の影響に関する日米比較」『理論と方法』25(2)；249-265

[3] 2008 「現代日本の不平等意識と不公平感」第81回日本社会学会大会 (東北大学)

2009 「家族構成と教育の不平等——母子家庭と父子家庭の比較を中心に」第60回関西社会学会大会 (京都大学)

2009 “Single Parenthood and Children’s Academic Performance: The Comparison of Single-mother Family and Single-father Family,” *The 9th Conference of the Asia-Pacific Sociological Association* (Discovery Kartika Plaza Hotel, Bali, Indonesia).

2010 「社会不平等・格差意識に対する居住地特性の効果の検討——マルチレベルモデルを用いて」第61回関西社会学会大会 (名古屋市立大学)

[4] 「教育機会の階層格差に関する実証研究：構造・変動・理論」博論構想発表会 (2010)

[5] 「社会的公正の計量分析——機会の平等と社会的不公平感」(2009)

[6] 「教育機会の階層格差の生成と変動——Inequality of Educational Opportunity 理論にもとづくアプローチ」(2010年度研究テーマ)

[7] [TA]

2006年度「社会調査実習 (平井順)」

2008年度「社会調査実習 (小林大祐)」

2009年度「社会学演習Ⅲ (ブルース・ホワイト)」

2010年度「社会調査実習 (古田和久)」

[8] 2005 「不公平感の『不公平性』——学歴不公平感と所得不公平感を中心に」尾嶋史章編『現代日本におけるジェンダーと社会階層に関する総合的研究』(課題番号：15330112)平成15～16年度科学研究費補助金基礎研究 (B) (1) 研究成果報告書, 15-26

2007 「社会活動における女性の参加者層——教育の地位表示機能を手がかりに」鶴飼孝造編

- 『新しいコミュニティの構想 2006年兵庫県県民調査報告書』；pp.131-148（平成16年度～平成19年度科学研究費補助金〔基盤研究（B）〕研究成果報告書）
- 2008 「若年労働市場における非典型雇用・無業とジェンダー——JGSS 統合データによる分析から」大阪商業大学比較地域研究所・東京大学社会科学研究所編『日本版 General Social Surveys 研究論文集 [7] JGSS で見た日本人の意識と行動』, 133-145
- 2009 「ひとり親家族と教育——母子家庭と父子家庭のちがいに注目した PISA 2000 データの分析」尾嶋史章編『学校教育と社会的不平等に関する国際比較研究（第1次報告書）』；pp.23-37（科学研究費補助金〔基盤研究（B）〕「学校教育と社会的不平等に関する国際比較研究：PISA データの分析を中心に」）
- 2009 「サンプル・ウェイトとリプリーケート・ウェイト——二段階標本設計にもとづくデータの特徴と分析時の注意点」尾嶋（2009）所収；pp.61-88
- 2009 「情報機器の利用における格差と社会的文脈の変化——JGSS データを用いて」大阪商業大学比較地域研究所・東京大学社会科学研究所編『日本版 General Social Surveys 研究論文集 [9] JGSS で見た日本人の意識と行動』；pp.93-106
- 2010 「期待学歴に対する社会階層の2次効果——IEO・経路依存性・ジェンダー」尾嶋史章編『学校教育と社会的不平等に関する国際比較研究（第2次報告書）』；pp.19-32（科学研究費補助金〔基盤研究（B）〕「学校教育と社会的不平等に関する国際比較研究：PISA データの分析を中心に」）
- 2010 「教育改革時代における大学と職業」『第1回同志社大学社会学部卒業生アンケート調査報告書』同志社大学社会学部教育 GP 評価委員会；pp.27-37
- 2010 「ライフコース初・中期における社会的ネットワークと精神的健康——JGSS-2009 LCS による実証」『日本版総合的社会調査共同研究拠点研究論文集』10：273-284
- 2011 「就職結果はどのように決まるのか——カウント・データ回帰モデルによる内定者数の分析」『第2回同志社大学社会学部卒業生アンケート調査報告書』同志社大学社会学部教育 GP 評価委員会；pp.21-38
- [10] 同志社大学文学部社会学科卒業（2006）
同志社大学大学院社会学研究科博士前期課程修了（2009）
同志社大学大学院社会学研究科博士後期課程入学（2009）
専門社会調査士（2010）
日本学術振興会特別研究員（DC2、2011-2）

田崎 俊之（タサキ トシユキ／Tasaki Toshiyuki）

- [1] 2009 「伏見酒造業における酒造技術者の実践コミュニティ」『フォーラム現代社会学』関西社会学会 8；pp.105-19
- [3] 2008 「伏見酒造業における酒造技術者の実践コミュニティ」第59回関西社会学会大会（松山大学）（関西社会学会大会奨励賞受賞）

- 2008 「実践コミュニティにおける多重成員性の問題——京都・伏見の日本酒製造業を事例に」
第81回日本社会学会大会（東北大学）
- [5] 「現代企業組織と企業横断型実践コミュニティ——伏見酒造業における酒造りの社員化を通して」
(2009)
- [6] 「“わざ”をめぐる集团的学習プロセスの研究」(2010年度研究テーマ)
- [7] 社会調査実習(2006 河口充勇) TA
質的調査法(2007–2008 西川麦子) TA
社会学演習Ⅲ(2009 鶴飼孝造) TA
- [8] 2010 「高校生の職業展望における地位達成志向と充足志向——地位尺度と価値尺度を通して」
尾嶋史章編『学校教育と社会的不平等に関する国際比較研究(第2次報告書)』; pp.45–63
(科学研究費補助金[基盤研究(B)]「学校教育と社会的不平等に関する国際比較研究:PISA
データの分析を中心に」)
- 2010 「学科別集計にみる学科の特性と傾向」『第1回同志社大学社会学部卒業生アンケート調査
報告書』同志社大学社会学部教育 GP 評価委員会; pp.49–56
- [9] 日本社会学会 関西社会学会
- [10] 松山南高等学校卒業(2002)
同志社大学文学部社会学科卒業(2006)
同志社大学大学院社会学研究科博士前期課程卒業(2009)
同志社大学大学院社会学研究科博士後期課程入学(2009)
専門社会調査士(2010)
日本学術振興会特別研究員(DC2、2010–1)

金 政芸(キム ジョンウン/Kim Jeongwoon)

- [2] 2011 「ナショナル・アイデンティティと他国意識——自国への愛着・自国優越意識・自国特別
意識と他国への好感度」『同志社社会学研究』15; pp.13–24
- [3] 2010 「ナショナル・アイデンティティの形成と他国認知——欧米とアジアに対する好感度から
みた自国への特別意識と優越意識」第83回日本社会学会大会(名古屋大学)
- [5] 「ナショナリズムを求める人びと——権威主義・他者との連帯・他国への嫌悪感からみたナショ
ナリズムの構造」(2010)
- [6] 「ナショナリズムの社会心理学的研究」(2010年度研究テーマ)
- [7] [TA]
2008年度「社会学演習(板垣竜太)」
2009年前期「社会調査入門(尾嶋史章)」
2010年度「社会調査実習(鶴飼孝造)」
2010年度「社会学演習(藤本昌代)」
- [8] 2010 「大学生の教育満足感と大学生活充実感を高める諸要因」『第1回同志社大学社会学部卒業

- 生アンケート調査報告書』同志社大学社会学部教育 GP 評価委員会；pp.13-25
- 2010 小林久高・金政芸「ワードを使った論文作成法——KT 法の概要」『2009 年度社会調査実習報告書（担当教員：小林久高）』；pp.281-98
- 2011 「大学生の論理的思考および説明能力の向上感の規定要因」『第 2 回同志社大学社会学部卒業生アンケート調査報告書』同志社大学社会学部教育 GP 評価委員会；pp.1-9
- 2011 小林久高・山本圭三・金政芸・猿渡壮「社会調査のためのエクセル利用法」『同志社社会学研究』15；pp.77-96
- [9] 日本社会学会
- [10] 同志社大学文学部社会学科卒業（2008）
同志社大学大学院社会学研究科社会学専攻前期課程修了（2010）
同志社大学大学院社会学研究科社会学専攻後期課程入学（2010）
専門社会調査士（申請中）

松川 杏寧（マツカワ アンナ/Matsukawa Anna）

- [1] 2009 松川杏寧・鷹家光吾・立木茂雄「地域の安全性から探索する CPTED とソーシャル・キャピタルにおける防犯指標に関する研究——京都市内共同住宅地でのケーススタディ」『地域安全学会論文集』11；pp.115-25
- 2010 松川杏寧・立木茂雄「ソーシャルキャピタルの視点から見た地域の安全・安心に関する実証的研究」『地域安全学会論文集』14（印刷中）
- [2] 2010 松川杏寧・立木茂雄「地域の防犯性に与えるソーシャルキャピタルの効果に関する実証的研究——平成 21 年度神戸市 1 万人アンケートのデータを基に」『地域安全学会梗概集』26；pp.59-62
- 2010 松川杏寧・立木茂雄「ソーシャルキャピタルと地域の防犯性因果モデルについての検討——多母集団同時分析を用いて」『地域安全学会梗概集』27；pp.97-100
- [3] 2009 地域安全学会春季研究発表会（一般論文発表）
2009 地域安全学会秋季研究発表会（研究発表）
2010 地域安全学会春季研究発表会（一般論文発表）
2010 地域安全学会秋季研究発表会（一般論文ポスター発表）
- [5] 「地域の安全性から探索する CPTED とソーシャルキャピタルにおける防犯指標に関する事例研究——京都市内郊外部の 2 共同住宅地の比較から」（2010）
- [6] 地域と防犯・ソーシャルキャピタル・環境犯罪学（2010 年度研究テーマ）
- [7] [TA]
2009 社会学演習Ⅱ，Ⅲ（立木茂雄）
2010 社会学演習Ⅲ（鯉坂学）社会学演習Ⅰ，Ⅱ・災害社会学・家族社会学（立木茂雄）社会調査実習（徳田剛）
- [8] 2010 松川杏寧・立木茂雄『ソーシャルキャピタルの視点から見たコミュニティづくりと地域の

安全性や安心感に関する調査報告書——平成 21 年度神戸市 1 万人アンケートのデータを
基に』神戸都市問題研究所.

2010 松川杏寧・立木茂雄『ソーシャルキャピタルの視点から見たコミュニティづくりと地域の
安全性や安心感に関する調査報告書——2006 年から 2010 年までの調査の成果と分析』平
成 22 年度神戸市地域活動推進委員会報告書.

[9] 犯罪社会学会 社会病理学会 地域安全学会 同志社社会学研究学会

[10] 大阪女学院高等学校卒業 (2002)

Santa Monica Collage 卒業 (2005)

University of California, Irvine 卒業 (2007)

同志社大学大学院社会学研究科社会学専攻前期課程修了 (2010)

同志社大学大学院社会学研究科社会学専攻後期課程入学 (2010)

[博士前期課程]

井上多賀子 (イノウエ タカコ / Inoue Takako)

[2] 2011 「地域婦人会における地縁団体と学習団体の交点 ——滋賀県湖南市の地域婦人会を事例
に——」『同志社社会学研究』15 ; pp.25-41

[5] 「地域婦人会における地縁団体と学習団体の交点 ——滋賀県湖南市の地域婦人会を事例に——」
(2011)

[10] 同志社高等学校卒業

同志社大学経済学部卒業

同志社大学大学院社会学研究科社会学専攻前期課程修了 (2011)

前 奈緒子 (マエ ナオコ / Mae Naoko)

[5] 「インターネット・コミュニティにおける親密性の向上の一要因に関する考察——話題対象の異
なる掲示板の分析を通して」(2011)

[7] 「社会学演習Ⅲ (2009 藤本昌代)」TA

[10] 同志社高等学校卒業

同志社大学文学部社会学科社会学専攻卒業 (2008)

同志社大学大学院社会学研究科社会学専攻前期課程修了 (2011)

岡本 洋一 (オカモト ヨウイチ / Okamoto Yoichi)

[2] 2011 「戦後日本における世代形成——消費社会と世代——」『同志社社会学研究』15 ; pp.43-56

[5] 「近代化と団塊世代 世代連関〈未来への確信〉とその蹉跌——エンployee化とその規範とし
ての〈努力〉からみる——」(2011)

[7] 2003~2004 大阪産業大学非常勤講師 (人間環境学部「広告論」)

- [10] 京都府立鴨沂高等学校卒業
同志社大学文学部英文学科卒業
広告会社勤務（1974～2007）
同志社大学大学院社会学研究科社会学専攻前期課程修了（2011）
同志社大学大学院社会学研究科社会学専攻後期課程入学予定（2011）

猿渡 壮（サルワタリ タケシ／Saruwatari Takeshi）

- [5] 「投票参加の深層要因——儀礼的参加モデルの試論的検討——」（2011）
- [8] 2010 「大学生活における諸経験と卒業生の将来展望」『第2回同志社大学社会学部卒業生アンケート調査報告書』同志社大学社会学部教育 GP 評価委員会；pp.51-64
2010 小林久高・山本圭三・金政芸・猿渡壮，「社会調査のためのエクセル利用法」『同志社社会学研究』15；pp.77-96
- [10] 都立八王子東高等学校卒業
同志社大学文学部社会学科社会学専攻卒業（2008）
同志社大学大学院社会学研究科社会学専攻前期課程修了（2011）
同志社大学大学院社会学研究科社会学専攻後期課程入学予定（2011）
専門社会調査士（申請中）

張 曉霖（チョウ ギョウリン／Zhang Xiaolin）

- [5] 「潜行するオタクたち ——アイドルマスターファンの場と反抗——」（2011）
- [7] 社会調査実習（2009 河口充勇）TA
社会調査実習（2010 パンジュン）TA
- [10] 同志社大学文学部社会学科社会学専攻卒業（2008）
同志社大学大学院社会学研究科社会学専攻前期課程修了（2011）

前久保智博（マエクボ トモヒロ／Maekubo Tomohiro）

- [10] 同志社大学大学院社会学研究科社会学専攻前期課程入学（2009）

松本亜沙香（マツモト アサカ／Matsumoto Asaka）

- [1] 2009 松本亜沙香・立木茂雄「阪神・淡路大震災の神戸市内におけるアンケート震度および社会的脆弱性が建物被害や直接死者数に及ぼす影響に関する確認的研究」『地域安全学会論文集』11；pp.89-96
- [2] 2009 松本亜沙香・立木茂雄「阪神・淡路大震災における神戸市内の死者数に及ぼす建物被害・社会経済および地理空間要因の関連性に関する確認的研究」『地域安全学会梗概集』24；pp.97-100
2010 「阪神・淡路大震災における西宮市内の死者数に及ぼす地震地表最大速度および社会的脆

弱性が建物被害や直接死者数に及ぼす影響に関する研究」, 『地域安全学会梗概集』 27 ; pp.129-132

- [3] 2009 地域安全学会春季研究発表会 (一般論文)
- 2009 地域安全学会秋季研究発表会 (査読論文)
- 2010 地域安全学会秋季研究発表会 (一般論文)
- [5] 「阪神・淡路大震災における神戸市・西宮市内のアンケート震度・地震最大速度および社会的脆弱性が建物被害や直接死亡者数に及ぼす影響に関する研究」(2011)
- [7] 社会学演習Ⅲ (2009, 2010 立木茂雄) TA
- [8] 「社会調査実習」報告書 (2007)
- [9] 同志社社会学研究学会 地域安全学会
- [10] 帝塚山高等学校卒業 (2005)
- 同志社大学社会学部社会学科卒業 (2009)
- 同志社大学大学院社会学研究科社会学専攻前期課程修了 (2011)
- 同志社大学大学院社会学研究科社会学専攻後期課程入学予定 (2011)
- 専門社会調査士 (申請中)

野間 美樹 (ノマ ミキ/Noma Miki)

- [2] 2011 「地球温暖化問題の社会構築主義的分析——科学者の言説を中心に——」『同志社社会学研究』 15 ; pp.57-75
- [5] 「地球温暖化問題の社会構築主義的分析——科学者の言説を中心に——」(2011)
- [8] 「産業調査実習」報告書
- [10] 京都市立堀川高等学校卒業
- 同志社大学社会学部産業関係学科卒業 (2009)
- 同志社大学大学院社会学研究科社会学専攻前期課程修了 (2011)

山田 航 (ヤマダ ワタル/Yamada Wataru)

- [5] 「アーカイブ的/データベース的自己キャラ化論から、自己論の更新へ向けて」(2011)
- [10] 私立長野日本大学高等学校卒業 (2005)
- 諏訪東京理科大学経営情報学部経営情報学科卒業 (2009)
- 同志社大学大学院社会学研究科社会学専攻前期課程修了 (2011)

崔 藍心 (サイ ランシン/Cui Lanxin)

- [10] 中国長春師範学院外国語学部日本語学科卒業 (2005)
- 同志社大学大学院社会学研究科社会学専攻前期課程入学 (2010)

劉 璿舒 (リュウ シンジョ／Liu Jinshu)

- [10] 天津科技大学経済管理学部財務管理専攻卒業 (2006)
- 同志社大学大学院社会学研究科社会学専攻前期課程入学 (2010)

[特別研究生]

曾 怡馨 (ソウ イケイ／Tseng Yihsing)

- [10] 同志社大学大学院社会学研究科社会学専攻前期課程入学予定 (2011)

2009 年度 博士論文題目（論文博士）

氏 名	論 文 題 名
西 川 京 子	薬物使用障害当事者の家族援助の研究 ——心理教育に基づく実験援助モデルの開発とその評価——

2010 年度 博士論文題目（課程博士）

氏 名	論 文 題 名
越 智 祐 子	脆弱性の可視化に関する社会学的研究 ——関係性概念を用いて——

2010 年度 修士論文題目

氏 名	論 文 題 名
松 本 亜沙香	阪神・淡路大震災における神戸市・西宮市内のアンケート震度・地震最大速度および社会的脆弱性が建物被害や直接死亡者数に及ぼす影響に関する研究
野 間 美 樹	地球温暖化問題の社会構築主義的分析 ——科学者の言説を中心に——
山 田 航	アーカイブ的／データベース的自己キャラ論から、自己論の更新へ向けて
井 上 多賀子	地域婦人会における地縁団体と学習団体の交点 ——滋賀県湖南市の地域婦人会を事例に——
前 奈緒子	インターネット・コミュニティにおける親密性の向上の一要因に関する考察 ——話題対象の異なる掲示板の分析を通して——

- 岡 本 洋 一 近代化と団塊世代 世代連関〈未来への確信〉とその蹉跌
——エンプロイ化とその規範としての〈努力〉からみる——
- 猿 渡 壮 投票参加の深層要因
——儀礼的参加モデルの試論的検討——
- 張 暁 霖 潜行するオタクたち
——アイドルマスターファンの場と抵抗——